

文部科学省「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」

九州大学「クリーン実験ステーション」の概要

山内貴志^{1,2}、有田誠³、鳥越和尚⁴、土渕香織¹、本岡輝昭^{1,2}

¹九州大学クリーン実験ステーション

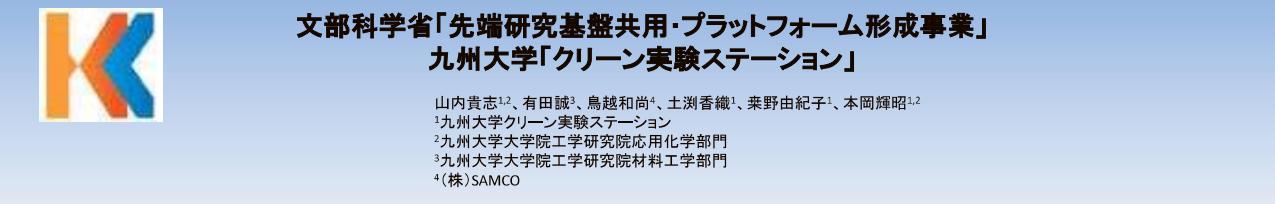
²九州大学大学院工学研究院応用化学部門

³九州大学大学院工学研究院材料工学部門

⁴（株）SAMCO

九州大学「クリーン実験ステーション」では、文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業補助金の支援により、九州シンクロトロン光研究センター内に九州大学が設置している各種装置の利用時間の一部を、共用装置として企業等へ開放している。「クリーン実験ステーション」の主要目的は、地域産業の高度化と新規産業の創出、先端技術を担う人材の育成、九州地域における产学連携拠点の形成である。

当施設では原子間力顕微鏡（Atomic Force Microscopy: AFM）、ケルビンフォース顕微鏡（Kelvin Force Microscopy: KFM）、そして、国内では当施設でのみ共用可能である走査マイクロ波顕微鏡（Scanning Microwave Microscopy, SMM）が主な共用装置となっており、DNA分子の観察、有機・無機ハイブリッド材料、金属や半導体など様々な材料の評価・測定を行っている。ここでは、その代表的な測定結果を紹介する。



文部科学省「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」 九州大学「クリーン実験ステーション」

山内貴志^{1,2}、有田誠³、鳥越和尚⁴、土瀬香織¹、栗野由紀子¹、本岡輝昭^{1,2}

¹九州大学クリーン実験ステーション

²九州大学大学院工学研究院応用化学部門

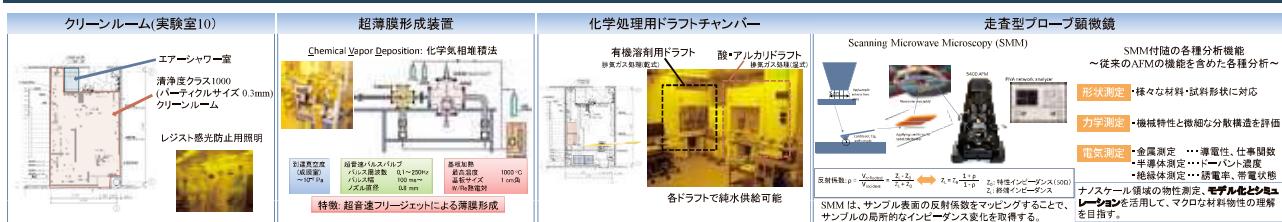
³九州大学大学院工学研究院材料工学部門

⁴(株)SAMCO

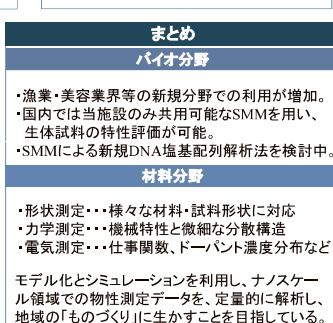
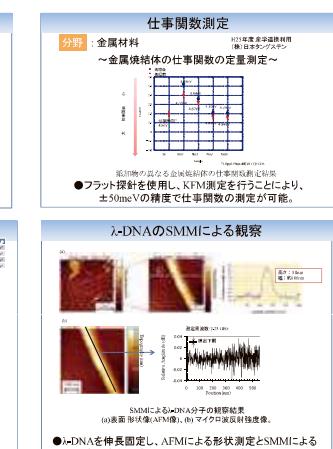
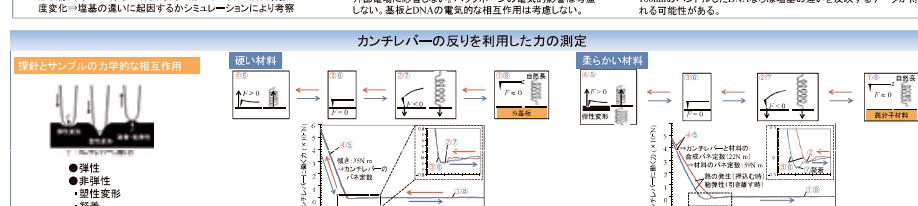
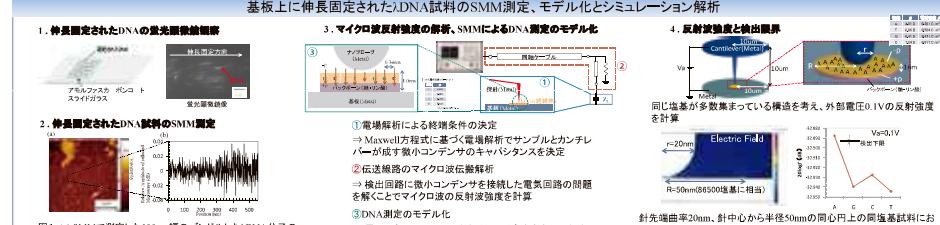
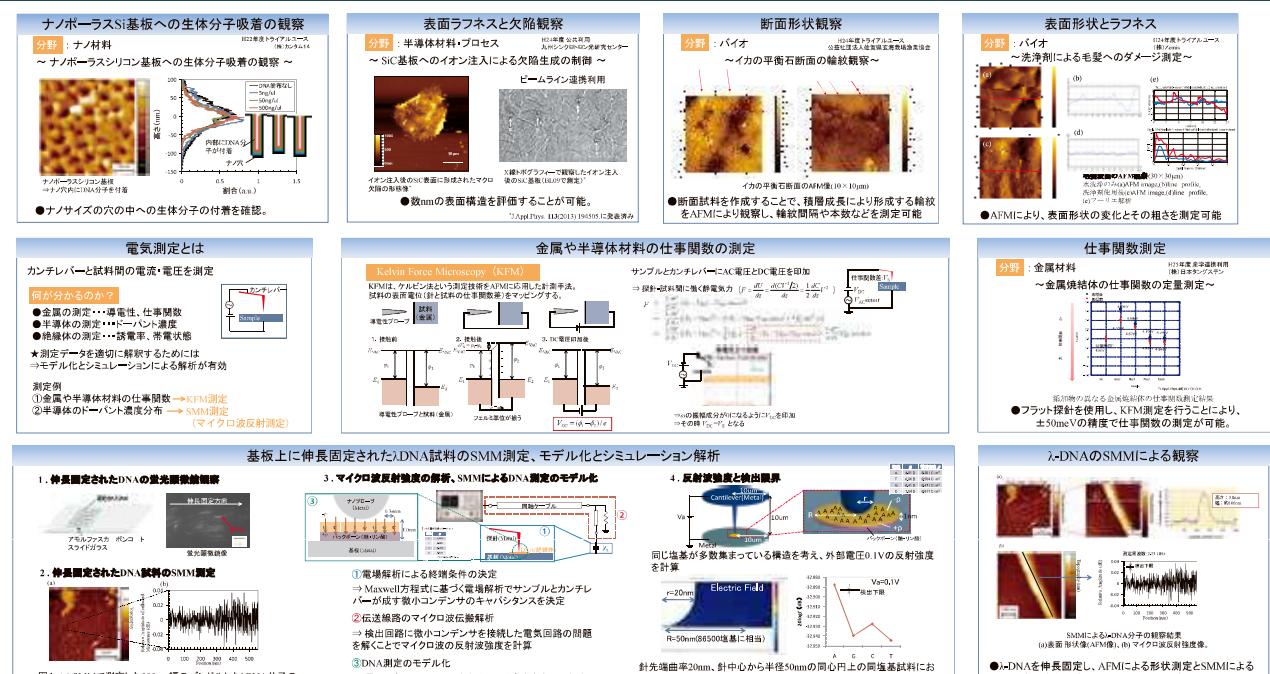
概要

九州大学「クリーン実験ステーション」では、文部科学省「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」補助金の支援により、九州シンクロトロン光研究センター内に九州大学が設置している各種装置を、供用装置として企業等へ提供している。原子間力顕微鏡(Atomic Force Microscopy: AFM)やケルビンフォース顕微鏡(Kelvin Force Microscopy: KFM)、そして、国内では当施設でのみ共用可能である走査マイクロ波顕微鏡(Scanning Microwave Microscopy: SMM)を用い、有機高分子材料の先端拠点として、バイオ分野を中心に、金属や半導体など様々な材料の評価・測定を行っている。ここでは、その代表的な測定結果を紹介する。

共用施設の紹介



測定結果



九州大学クリーン実験ステーション
<http://kuclf.jp/>